



本郷台小 だより

9月

横浜市立本郷台小学校

令和5年8月31日

栄区本郷台一丁目6番1号

TEL 045-893-4010



学校ホームページ：<https://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hongodai/>

原風景

校長 原 南実子



百日紅の花が、夏の空に鮮やかに咲き誇っています。暑い日が続いた夏休み期間でしたが、保護者の皆様、地域の皆様、お元気でお過ごしでしたでしょうか。久しぶりに会った子ども達は、一回り大きく、たくましくなったように感じます。「おはようございまーす」という声を聞き、おかえりなさい!という気持ちがかみ上げてきました。子ども達に会えてとても嬉しく思います。

夏休み明けの二日間、子ども達は集団登校で登校してきました。長い休み明けは生活リズムを戻すのに少し時間がかかります。また、久しぶりの学校で心の変化なども見られる時期ですので、スタート時、子ども達の安全と安心を守ることはとても大切となります。おかげさまで、子ども達は安全に登校してくることができました。休み明けの集団登校をこれまで継続してきてくださった本郷台小の保護者の皆様や地域学援隊の皆様、校外委員の皆様に改めてお礼を申し上げたいと思います。ありがとうございます。前期第2ステージも、子ども達の安全と安心を見守っていただけますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

さて、コロナ対策が緩和され、今年度は夏のお祭りや行事が久々に行われた地域も多かったようです。7月29日には小管ヶ谷第一町内会のお祭りが、8月11日には駅前広場で「栄駅の盆」が行われ、多くの子ども達が来ていました。私は本郷台小にきて4年目となりますが、夏のお祭りは初めての経験でした。小管ヶ谷第一町内会のお祭りは春日神社の隣の少年広場で行われました。朝早くから、やぐらを立てたり、テントを立てたりと町内の方々や出店する皆さんで準備が行われ、16時半からお店がスタート。17時にはお祭りが本格的にスタートしました。町内会の本郷台小6年生によるソーラン節、ダンスクラブのダンスパフォーマンスでは子ども達にたくさんの拍手が贈られていました。また、盆踊りの時間は、子どもも大人も輪になり、本校の職員も混ざって、栄区音頭をはじめ、東京音頭や炭坑節、アラレちゃん音頭、私の彼は左利きなどなど、いろいろな踊りを踊りました。やぐらの上では町内の踊りの先生がみんなに見えるように踊ってくださり、やぐらの下では太鼓を習っている子ども達が太鼓をたたき、盆踊りを盛り上げていました。本校の職員も太鼓のお手伝いを行いました。栄区の堀口区長もお見えになり、町内会のお祭りにこんな人が集まり、にぎやかに、楽しく過ごしている姿や、町の人々が関わり合えるこうした機会をみなで創り出していることにとても感激されていました。幼児から小学生、中高年生など、子ども達がたくさん来ていることも素晴らしい、と喜んでいらっしゃいました。町内会長の久家さんや子供会担当で祭りの司会をした松尾さんも、4年ぶりに開催できたことの喜びや、大人も子どもも皆で集える喜びを語られていました。

駅前で行われた栄駅の盆は、本番前の7月末の夕方に、駅前広場で盆踊りの練習が行われていました。近所の子ども達や保護者の皆様、踊りや太鼓に関わる方々、地域ケアプラザの方、松尾さんなどがいらっしゃり、楽しそうに練習をしていました。ちょうど通りかかった私も、子ども達に呼ばれて一緒に踊りました。ある保護者の方が「こうした機会があると子ども達が地域と関わることができずね。地域の人とふれ合う経験は子どもにとって大切ですよね。大人がそうした環境をつくるって大事ですね。」とおっしゃっていました。この夏、お祭りを回り、そこでの子ども達の姿を見て、子どもはこうして地域の中で育っていくのだな、ということをしみじみ感じました。地域での行事やそこでの温かい関わりは、これから社会を創っていく子ども達の「原風景」になるのだらうと思います。地域の皆さんの熱い思いにふれ、そうした環境を創っていく大人の役割を改めて感じた夏でした。

子どもが豊かに学んでいけるよう、今後ともご支援、ご協力をどうぞよろしくお願いいたします。